



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

2020

12

| | |
|-------------------|-----|
| 無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし | 4 |
| 会員雑詠集「無人駅」 | 7 |
| ■例月句会結果■ | |
| おかじょうき川柳社 11月誌上句会 | 19 |
| 川柳吟行会「ぼ」 | 26 |
| 十和田たてがみ川柳会 10月句会報 | 23 |
| ■連載■ | |
| 「深艘心理」 奈良一艘 | 18 |
| Infomation | 29～ |

カンテラ

むせし

アメリカ大統領選挙の報道が一段落したところで、
たしても新型コロナウイルスの報道が多くなり一喜一憂
の日が続いています。

みなさん、コロナウイルスには充分気をつけてください。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

無防備な置手紙から白い闇

夏草ぶぶき

ファンファーレは吹かぬラッパ屋の矜持

月波与生

知らぬ者同士羽音の暑さかな

鳴海賢治

仮の世はもうないのですさくら雨

まきこ

尻尾振るたびに真水が溢れ出る

三浦蒼鬼

来年も桜はきつとひとりぼち

村井規子

喪の家に宅配便の響く声

斎藤泰子

コスモスが揺れて去年の風が吹く

小野五郎

コンビニへ愛と勇気を買に行く

須藤しのすけ

須藤しのすけさんて「愛」と「勇気」をコンビニで

買ったんだあ、と思っただけ念のため「愛と勇気」をキー
ワードにネット検索してみました。すると、野口美佳さ
んという方の著書がヒット。『女性に大人気の下着通販
会社「ピーチ・ジョン」。そのカリスマ社長“みかじよ
ん”こと、野口美佳。広く賢く逞しい女を目指すための、

愛と勇気をくれる抜群のハッピー論。』だって。野口美
佳さんは「男前 経営論」という本も出版しているから、
すんのすけさんは（あー訛ってしまった）こっちも買っ
たんだろうな…。

B群

満月の臍につかまる赤まんま

笹田隆志

誤読も誤差もなんて事無いライスカレー

きさぎ彼句音

レタスの裏切りピーマンのお人好し

ひとは

昨日今日令和二年のマスク縫う

吉田州花

御破算にしようか二〇二〇年

葉 閑女

先攻でどうぞと瓶のふたが言っ

熊谷冬鼓

それでもとビニール傘は前になる

辻井洋子

辻井洋子さん、この「ビニール傘」はどこでいくらで
買ったの？私は百円ショップのものを使っていますが、
洋子さんののは違うだろうな…。ところで、「ビニール傘」

は布地でできた傘より高くないような気がします。だか
ら立派なものじゃない。「それでも」「前になる」「それ
が私」ってことだね。ビニール傘ガンバレ！

C群

芸するなもう芸するな鹿のフン

岩根彰子

人間を隅のほうから蹴り出してくる

芝岡かんえもん

二秒ほど遅れた返事 湿地帯

米山明日歌

矢印が集まってきて鳥になる

守田啓子

礼拝はしたか人は殺したか

奈良一艘

岩根彰子さん、「鹿のフン」とは少し変わった題材で
すね。「フン」は、「糞」でしょ？食べたものからいろん
なものが抜き取られて残ったもの。でも、彰子さんの頭
の中では「フン」と「糞」は違うのかもしれない。「糞」
にはできない「芸」をするのが「フン」なのかも…。ど
んな芸をするのかな…。まさか、この「フン」て、作者

の彰子さんじゃないよね(汗)

芝岡かんえもんさん、「人間」って「隅のほう」から蹴り出してくるものなのですか。どこの「隅」か知らないけれど、「隅」ねえ…。もしかしたら、かんえもんさんは「人間」じゃないのかな…。私が見るには妖怪のような…。であれば、「人間を隅のほうから蹴り出してくる」って素直に分かるんだけど…。違うかな。

米山明日歌さん、この句、微妙ですね。「二秒ほど遅れた返事」だから「湿地帯」、遅れなかったら「湿地帯」じゃないってことだよ。ね。「二秒ほど」がどれだけスゴイかってことだ…。逆に考えれば、人間は「二秒」で「湿地帯」を作れるってこと。誰が誰に「返事」したんだろう、どんな「返事」なんだろう、とは思っけど、そんな疑問を吹っ飛ばしてしまう句だね。

守田啓子さん、私はこの句を読んで棟方志功が昭和35年に制作した「鷺鷥(さぎなわて)の柵」という作品を思い出しました。画面の上を飛んでいる白い鳥と、下に

いる黒い鳥の二種類の鳥がいるのですが、あれはどっちも「鷺」なんでしょうね。で、棟方は彫刻刀という「矢」のようなものを持って、やはり第九を歌いながら彫ったんでしょね。あれ？もしかしたら、啓子さんの体の中にベクトルが何本もあって、それが集まって啓子さんがある方向へ飛び出させるってことかな？

奈良一艘さん、「礼拝」は「れいはい」？それとも「らいはい」？もちろん「れいはい」でも「らいはい」でも間違いではないんだけど、広辞苑を見て「れいはい」は何となくキリスト教で使われる言葉みたいな感じがしたんです。(関係ないよな…)ところで、この句は「礼拝はしたか」と「人は殺したか」が並列になっているから、人を殺した後には神を拜むべきだってことじゃなく、「礼拝」することと「人を殺す」ことは同じことだと言ってるんだよね。「人は殺したか礼拝はしたか」に直すと、一艘さんは「それは違う」って言うんだよね。一艘さん、教唆癖があるって言われない？うーん。

おかしょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅年度賞

シャープして春を呼んでる二月の「ラ」

辻井洋子

★無人駅11月月間賞

河馬の吐く海市へ鎖骨權にして

きさらぎ彼句吾

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

身の置き場ない時もある蛇の目傘
それでもとビニール傘は前に出る
心地よい音だけ拾う耳でいる
一線を越えた背骨は柔らかい
無職なり鼻も利かなくなつて雪

先月号のお気に入り
小鳥来てトマトの赤を見て帰る
句の優しさに癒されます。
熊谷冬鼓

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

ハルジオン枯らした人を捉まえた
無防備な置手紙から白い闇
階段の手すりに母が忘れた手
アサガオの種を集めてから死のう
ざわついた砂利を片付けてから菊

先月号のお気に入り
わかったと右手わからぬと左手
両手がわかつてくれたらなあと思います。
石橋芳山

土田雅子【つちたまさこ・青森県青森市】

もう少し見ていたかった母は呟いて
大丈夫大丈夫つて最期まで
苦労性でした本家の嫁でした
ゼンマイの時計が動かなくなつて
階下で暮らす亡母を感じていたいから

先月号のお気に入り
ゼムクリップほどく重機を従えて
それは大事になりましたねえ！
安藤なみ

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

ニッポンたそがれ南瓜のクラスター
礼拝はしたか人は殺したか
イマジンがどどん溜まる洗面器
歩道には怯えた形をしたマスク
わらわらとカピバラ知りもしないくせに

先月号のお気に入り
プリンセスとガマガエルは嘘つき
知ってる知ってる。あはは
田久保亜蘭

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

物語がはじまる 胎児の吐息
トーストのその他にバター塗りまくる
さびだんご貰わずともお供します
知らぬ者同士羽音の暑さかな
背もたれにもたれてコロナこぼすなよ

先月号のお気に入り
コロナウイルスとじゃんけんしてはいけません
そのとおり。
むさし

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

あくまでもヒポクラテスという呪文
うつむいているから今日はお赤飯
真つ赤つか雨の太さを突つ走る
ホバリングしているのなら大丈夫
キリン草の黄色ねばならぬ黄色

先月号のお気に入り
必要と不要 權が立っている
立つとしたら、やはり權でしょうね。
守田啓子

ひとは【ひとは・青森県黒石市】

一輪の薔薇と孤食の白い皿
待ち人は来たらず影が湿気ていく
いつまでも待つてるなんて錆びた釘
わたくしに栞はさんでまた放置
レタスの裏切りピーマンのお人好し

先月号のお気に入り

まきち【まきち・青森県青森市】

攻めるもの増えてうがいがかかせない
あの時の時雨だろうか寒すぎる
まんまるな月の説教止まらない
心技体軽く整え後攻めに
仮の世はもうないのですさくら雨

先月号のお気に入り
返しますあなたは全部読んだから
すつきりきっぱりで好きでした。
米山明日歌

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

誘う気も誘われる気もない時計
愛想よく使い回されていくリボン
よれよれになっても失くさない見せ場
ひとつまみ程の気合いがあるだけで
時々はお互いさまを確かめる

先月号のお気に入り
濁流を濁流のまま飲み込んだ
むさし
①ずいぶん素直になって：疲れたか②それ以上に意欲が湧いてきたのか：どっちだ？

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

空き箱に詰め込む不確かな黄色
手探りの朝ですマスク渡される
独りよがりの副作用です偏頭痛
尻尾振るたびに真水が溢れ出る
ヘソ天に「いいね」をしてはいけません

先月号のお気に入り

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

リコピンは裾ひるがえすフラメンコ
なるようになればいいのよハムサンド
こだわりは餃子の皮の空気感
安全な檻マッキーで書く名前
あなたってコツメカワウソ能天気

先月号のお気に入り
山羊さんのお手紙つづく雨つづく
ひとり静
白山羊さんはねちっこいので苦手です。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

柳界にモーツァルトがいて頭痛
作句する夜の私を見ては駄目
来年も桜はきつとひとりぼち
血液の五割川柳死ぬまでに
なりたい大人探しつづけて午後

先月号のお気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

肉まんが大好きな胃が待っています
反抗期過ぎた男の柔らかなさ
がまの穂で埋めてほしい僕の穴
虫食いで断線だらけまだら呆け
私の強い爺が闊歩する世界

先月号のお気に入り
ステイホームしっくりこない椅子という
熊谷冬鼓
いつまで続くコロナ感染拡大。家においても落ち着かないですね。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

五十年よくぞ座った古い椅子
下ばかりみると見えない青い空
この椅子に座りつづけていいですか
しっかりと眉を描いて生きてます
ありがとう世話になってもしていても

先月号のお気に入り
ポケットのじしみに忍ばせる青春
土田雅子
老いても青春を感じる事があります
それが生きている実感だと思います

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

コピペしてやるくしゃくしゃの夕やけを
手包みの餃子の中ホモサピエンス
矢印が集まってきて鳥になる
雨雲を宥めたり木を宥めたり
だから何それぞれの冬見せあつて

先月号のお気に入り
暮らした十年を箱詰め
旅男
こんな書き方をされたら妙に気になります。

柳谷たかお【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

肩を借り貸して道なき道拓く
よっこらしよどっこいしよああ生きている
稲刈りを終えた田んぼのあつけらかな
契りましょ北風小僧来る前に
秋晴れの中は一人で歩かない

先月号のお気に入り
夕焼けが何枚も出てくる筆筒
守田啓子
四季折々の夕焼け持っつけていそうな啓子さん！

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

補助線を引いても救えない踵
とろとろは善か悪かでもめている
結論が出ない熱爛もう一本
組違いでした婿にはなれません
御破算にしようか二〇二〇年

先月号のお気に入り
貧富の差あります庭の千草にも
鳴海賢治
いろんな解釈をして、そっだ！そっだ！と頷いています。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

抱いて寝る二〇二〇の烙印を
発声練習声が小さくなるように
昨日今日令和二年のマスク縫う
アウトローの背中が好きなしじみ貝
夜の街ずんずん進む赤信号

先月号のお気に入り
葉指から巣立っていった泣きぼくろ
夏草ふぶき
よくぞ巣立ってくれました

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

二秒ほど遅れた返事 湿地帯
「茶碗蒸しかしら」となりたいたいもの云う
ここからはひりひりさせる時間帯
骨の音かき消すような滝の音
お別れの儀式のように鳥をかう

先月号のお気に入り
余ったたり足りなかったり夏の水
吉田州花
なるほどと思いました。私は、どちらかと言うと秋の水
の足りなくなるタイプです。

安藤なみ【あんだうなみ・愛知県瀬戸市】

スマホから漏れるアルゼンチンタンゴ
相部屋の神と仏の倦怠期
一眠りしてペンギンに起こされる
乱獲の海に逆立つ人魚姫
リモートで見る話すでは愛せない

先月号のお気に入り
一足歩行ここから男 戦好き
柳谷たかお
一足歩行にしていただけせんか。

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

秋風がパラパラするのにな 動けない
ゴーンという輪につかまって愛にゆこ
名月や 乾杯は危険なビール
ぽりぽりと腕を掻くポテチ食う
上品に見える女で お得感

先月号のお気に入り
夏大根の尻尾のような貌になる
むさし
誌上ばかりで緊張感のない日々。ふと鏡を見ると 羨び
ていた私が：

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

それぞれの風待っている秋桜
ナツメロはアツという間の二十年
抱いて眠る泉のように肝のう胞
命あるもの光らせて十三夜
完熟のプラムぼとりと冬便り

先月号のお気に入り
夏大根の尻尾のような貌になる
むさし
誌上ばかりで緊張感のない日々。ふと鏡を見ると 羨び
ていた私が：

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

芸するなもう芸するな鹿のフン
新たまご走って走って病院行き
銀杏を拾う去年の今日捨てる
線香の化粧回しが曲がつてる
顎上げて喝入れてくるカツカレー

先月号のお気に入り
返しますあなたは全部読んだから
米山明日歌
お強い！

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

けんけんぱつ辿り着かないもみじ寺
コスモスが揺れて去年の風が吹く
熟柿食べると遙かなる獣臭
ぬらりひよん一羽スペインの夜の庭
しみじみと飲んだら父がいなくなる

先月号のお気に入り
返しますあなたは全部読んだから
米山明日歌
お強い！

きさらぎ彼句吾

〔きさらぎあくあ・青森県弘前市〕

誤読も誤差もなんて事無いライスカレー
踊りの輪抜けて露の身に戻る
一天俄かに年下が逝くゲリラ雨
ヨタヨタ生きてきた赤点でしようか
枯れ葉くらいです私の平熱

先月号のお気に入り
なんだか洗濯槽にも急かされて
田中 薫
気のせいですよ、落ち着いて！

熊谷冬鼓

〔くまがいとうこ・青森県青森市〕

水漏れはマスクをつけたあたりから
一年をゆるゆる締めるピンセット
先攻でどうぞと瓶のふたが言う
気休めにあるあるなんて茶封筒
乾電池取り替え卵の特売日

先月号のお気に入り
留め金が緩んで流れ出すワルツ
村上あつこ
流れ出すのがワルツっていいですね

木村美映

〔きむらびえい・青森県青森市〕

正装になったマスクとサングラス
酒だけが進んで今日もひきこもり
罹患者の住所は書くなさらし首
出演のライブハウスも閉古鳥
しゃしゃら釈迦釈迦どろろ脳髓

先月号のお気に入り
晩年を映すプラネタリウムらし
月波与生
土曜日の中央市民センターに観に行こうと思います。

斎藤泰子

〔さいとうたいこ・秋田県大館市〕

弟は逝つた たばこと猫残し
主れない車椅子から暮れてゆく
喪の家に宅配便の響く声
息吸つて吐いて思い出湧いてくる
靈感が無いから静か過ぎる部屋

先月号のお気に入り
遺失物取扱い所に届いた「ちゃん」と「村井規子」
村井規子
拾われないように「ちゃん」と「はちゃん」と捨てなくちゃ。

笹田隆志

〔ささただたかし・青森県青森市〕

金魚ぼろぼろ潜水艦すいすい
新月の法事のレシピ吾亦紅
満月の臍につかまる赤まんま
秋海棠のほたを集める競技会
新米の芋を転がす河川敷

先月号のお気に入り
人間失格ズルズルとカップ麺
芝岡かんえもん
カップ麺が大好きな私も人間失格？

城後朱美

〔じょうごあけみ・福岡県八女市〕

何を求めて飛行機雲を追いかける
夢の夢ゆめコロナ禍の里帰り
うまくいくことの不思議を猫じやらし
卵かけご飯で我が家活気づく
腹黒い自分を空に曝け出す

先月号のお気に入り
生きるとは 回す地球儀午後の雨
吉見恵子
コロナ禍の地球はみな病んでいる。終息を願う。

芝岡かんえもん

〔しばおかかんえもん・神奈川県横浜市〕

人間を隅のほうから蹴り出してくる
一円玉 涙の色をもっている
街中で手招きしてる悪巧み
耳を澄ませば五臓六腑の呻き声
プライドに関節技を決められる

先月号のお気に入り
返しますあなたは全部読んだから
米山明日歌
おもいっきりが良く拍手喝采したくなります。でも、言われ
たほうはたまりませんね。常に言う側になりたいものです。

Sin

〔しん・青森県外ヶ浜町〕

死にかけの夕日を煽つていくスタイル
父の絵を真つ赤に描く男の子
接待を伴う脊椎側弯症
「はい、みなさん、そろそろ5密の時間です」
感染経路はたぶんセックス・ピストルズ

先月号のお気に入り
さよならの握力だけを信じてる
米山明日歌
なにがどうなのかはわからんが、このさよならの信頼の
握力も強そう(笑)

須藤しんのすけ

【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

板チョコの二列目化学者の右手
キャンバスを飛び出すカワサキのバイク
体温の約半分は君のせい
満月に映すアップルパイの音
コンビニへ愛と勇気を買に行く

先月号のお気に入り

| |
|--|
| |
|--|

瀧尻善英

【たきじりよしひで・青森県八戸市】

森羅万象一気に呑み込む深呼吸
過労死の溝に追い込む二十五時
美しい日本語忘れ「やばたにえん」
厳しさと優しさに触れジャポニズム
いま逢えば戻れぬ道と知りながら

先月号のお気に入り

| |
|---|
| ラチオ体操にも 自肅警察だった 吉田吹喜 自肅警察とは、軍隊式体育教育の体育脳に原因があるとのこと。まさに自肅・自肅の御時世ですね。 |
|---|

田久保亜蘭

【たくぼあらん・秋田県五城目町】

イチゴ白書のイチゴ狩り当選者
おおまかな信号待ちの船に乗る
旧式に劣る雀の涙でしょ
三回に一回は妻だと知った
一言で言うとかクロバットな黄身

先月号のお気に入り

| |
|--|
| |
|--|

旅男

【たびお・青森県五所川原市】

想いより抜けていきます誤変換
Wる影人間らしくなってるね
お金なく別居できない1/122
性よりも生に戻され本宅へ
御破算で願いましたは誕生日

先月号のお気に入り

| |
|---|
| 八十八ポイントためた赤い飯 思わず笑っちゃう。溜まりましたね、ポイント。私も貯めています。 村上てる |
|---|

月波与生

【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

ファンファーレは吹かぬラップ屋の矜持
小春日に散らばる人魚姫の靴
羞恥心増した頸のノンカフェイン
皆去った避難所骨の歪む音
痛みなき国へ卵を産みにいく

先月号のお気に入り

| |
|--|
| |
|--|

むさし

【むさし・青森県蓬田村】

日暮れの街の人の波から夜が降る
アマビエよカーブミラーが揺れている
いつ見ても笑っていない土偶の目
アイツもコイツもみんな過去から逃げて来た
眠れないので雲を配達致します

川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町 2-2-4 新町二丁目ビル6階
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日 / 【賞】秀逸には図書カードを贈呈

読賣新聞

深艘心理

濁流を濁流のまま飲み込んだ

むさし

(会員雑詠集 無人駅10月号より)

ご存知の通りおかじょうき川柳社代表むさしさんの句である。

いままであまりにも恐れ多くてなかなか取り上げられなかったのだが、一度は手をつけてみなければなるまい。

まず「清濁併せ飲む」という言葉はご存知だろうが、中国前漢時代の歴史書「史記」に載っている言葉で、「海は清流も濁流も、緩やかな波も激しい波も区別することなく全て受け入れること」から転じて、自分の価値観や考えにこだわることなく、他人の考えも受け入れる場合によく使う言葉である。

となれば、掲句の濁流とは他人の考えや価値観の目安、例えば「おかじょうき無人駅鑑賞・カンテラ」で取り上げている難解でややハンカクサイ

(津軽弁でバカな、ろくでもない、アホなの意味)句が満載のC群をもむさしさんはキチンと受け入れている。ということなのか?と戦犯としてふと思ってしまうのだがおそらくは違う。

この場合の濁流は作者自身の中に潜んでいる他人への羨望だったり嫉妬、あるいは自分の部分との葛藤が濁流なのではあるまいか。

敢えてその濁流を濁流として飲み込み、更にそれをどう昇華させたのかは語っていない分、葛藤のドラマが深く心に染み込んでくるのだろう。

ハンカクサイ代表の一艘ならばきつと濁流は濁流として飲み込めずにベツベと吐き出してしまったのかもしれない。そこに一艘とむさしの人間としての深さの違いが表れているのでしような。

うーむ、参ったな。



家にいよう

▼投句者 (44名・到着順)

| | |
|----------------|---------------|
| 芝岡かんえもん (神奈川県) | 鳴海賢治 (青森県) |
| 宮井いずみ (大阪府) | 小松増美 (東京都) |
| 吉松澄子 (愛媛県) | 中村暁代 (岩手県) |
| 西沢葉火 (長野県) | 村上あつこ (青森県) |
| 三好光明 (愛知県) | 須藤しんのすけ (青森県) |
| 斎藤泰子 (秋田県) | 安藤なみ (愛知県) |
| 柳本恵子 (奈良県) | 土田雅子 (青森県) |
| 斉尾くにこ (鳥取県) | 四ツ屋いずみ (北海道) |
| 米山明日歌 (静岡県) | 郷田みや (愛媛県) |
| 岩根彰子 (京都) | きさらぎ彼句吾 (青森県) |
| 岸井ふさゑ (大阪府) | 坂本清乃 (青森県) |
| 旅男 (青森県) | 青砥和子 (愛知県) |
| 村井規子 (青森県) | 葉 閑女 (青森県) |
| 石橋芳山 (島根県) | 徳長 怜 (徳島県) |
| 小沢 史 (東京都) | まきこ (青森県) |
| 峯島 妙 (大阪府) | まみどり (青森県) |
| 尾崎良仁 (千葉県) | 守田啓子 (青森県) |
| 渡邊こあき (青森県) | 奈良一艘 (青森県) |
| 田久保亜蘭 (秋田県) | 夏草ふぶき (青森県) |
| むさし (青森県) | 熊谷冬鼓 (青森県) |
| 寺川弘一 (大阪府) | 三浦蒼鬼 (青森県) |
| 吉田吹喜 (青森県) | 笹田隆志 (青森県) |

おかじょうき川柳社

11月ステイホーム誌上句会

宿題『置』

秋田県秋田市 一帆選

【佳作】

狼は未だ楢山で待つている
 玄関に転がる家系図の狼煙
 よく跳ねる癩癩玉の置きどころ
 箒を置いて人間にもどる朝
 狂い咲く桜が置いてある鎖骨
 百均の土下座をひとつ置いておく
 カマキリの卵の位置と僕の位置
 玄関前に置きっぱなしの象の鼻
 月を見る椅子を時々変えて秋
 後悔を時空の影に置き換える
 句読点こんなところに置き忘れ
 手の届くところに置いておく予感
 つぼみのような過去 駅に置いたまま
 サボろうかじわりズレてく眉の位置
 どうやって生きてきたんだ招き猫

安藤なみ
 土田雅子
 宮井いずみ
 柳本恵子
 小沢 史
 尾崎良仁
 坂本清乃
 田久保亜蘭
 熊谷冬鼓
 峯島 妙
 寺川弘一
 郷田みや
 米山明日歌
 青砥和子
 芝岡かんえもん

置時計もう歌わない笑わない
 オリオンを定位置に置き冬の雨
 夕焼けの中にあの眉あの笑顔
 星降る夜の放置自転車北を向き
 絶妙なヒントを敵は置いて去り

岸井ふさゑ
 夏草ふぶき
 葉 閑女
 斎藤泰子
 斉尾くにご

【五客】

光秀としてパセリの位置で雌伏する
 水平線はビールグラスを置くところ
 棺ひとつ想定外の位置にある
 終電車置き去りにされた声・こえ
 定位置がずれると母に戻れない

きさらぎ彼句吾
 む さ し
 ま き こ
 四ツ屋いずみ
 斎藤泰子

【人位】

エンディングノート書き終えサンマ焼く

柳本恵子

【地位】

延命を拒否した位置に月を置く

守田啓子

【天位】

水になる置いてはゆけぬ人置いて

徳長 怜

◆コロナ禍の中の選となったからか、結果として、それぞれの人生の決断の句を取っていた。子供が成長するまでは、絶対この子たちを残して逝くことは出来ないと熱く決意して手術に臨んだことがあった。歳月を重ねた今、生き死にを定めと受け入れられるようになった。配偶者（と思う）との静かな愛情を感じられた◆

宿題『違う』

徳島県小松島市 徳長 怜選

【佳作】

アメリカはどろどろ 日本はずるずる
 なにがどうしてホットケーキとパンケーキ
 満点の星まちがったことを云う
 食用かそうでないかは運次第
 ト書です口説いてなんかいませんよ
 違いますそれは私の影じゃない
 その顔はボクの顔とは気づかない
 寂しさを否定してみる検温器
 違和感が抜けないなりたての枯れ葉
 当てのない大根おろしたんとある
 分かれ道菌糸類ほど生きる道
 違う絵にしばしば紛れ込む紳士
 間違ひ探しは母さんの居場所
 長靴を履いてチャトラは空を飛ぶ
 日本酒とスイカジュースの間柄

熊谷冬鼓
 石橋芳山
 芝岡かんえもん
 吉田吹喜
 葉 閑女
 柳本恵子
 田久保亜蘭
 夏草ふぶき
 きさらぎ彼句吾
 坂本清乃
 旅 男
 西沢葉火
 岩根彰子
 斉尾くにご
 岩根彰子

違和感を引きずり海になりました

三浦 蒼鬼

間違えて月の産毛を剃っている

小沢 史

結び目が違う音読と黙読

米山明日歌

ティンパニと雷 ピーターの帽子

宮井いずみ

銀杏になるか踵になるか 冬

守田啓子

【五客】

野菊とはあれから先が違ってた

米山明日歌

予定とは違った町で冬になる

石橋芳山

常夜灯とは違います踵です

小沢 史

ピリオドとも青いハイフンとも違う

吉松澄子

違います先にあなたを燻製に

尾崎良仁

【人位】

間違ひも丸めてしまうおじいさん

三好光明

【地位】

すれ違うドラマチックな鎖編み

郷田みや

【天位】

蜃気楼がずっと揺れてるラムネ瓶

奈良 一艘

◆【人】間違ひは正解だったりもすることを知っているおじいさんは飄々。「違う」ことを愉しめる◆【地】すれ違うひとの数だけできてゆく鎖。運命という編み棒は、一瞬の出会いで永久を編むかも知れぬのだ◆【天】ラムネ玉は出るに出入れず闕外に違世界が揺れる。瓶のその身は透けて、ここからの出口を塞ぐのは他でもないラムネ玉自身であるという哀しさをみせている◆

宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

秋なのでコメントは差し控えます
結局は国産穀付きピーナツツ
予定のない1日がまた過ぎてゆく
汚れるばかり息吸ったって吐いたって
内臓が秋のナスビになってゆく
丁寧語に過呼吸になる煮大根
除菌した両手で明日を探しましよ
鬱の字をお菓子のように食べていた
「何気なく」で包むピンクの二重丸
丸いもの皆踏んづけて持ち帰る
任命拒否ずいぶん偉くなったのね
足首をゆつくり回す備考欄
望郷の蝶百頭と海を越す
この愛は温めなおしだったんだ
時計見て時間の形考える

鳴海賢治
熊谷冬鼓
村上あつこ
きさらぎ彼句吾
奈良一艘
熊谷冬鼓
尾崎良仁
峯島 妙
郷田みや
小沢 史
葉 閑女
守田啓子
徳長 怜
渡邊こあき
寺川弘一

十和田たてがみ川柳会10月句会

【参加者】漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・

斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・福田芳記・村

上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美

■席題『面接』

村上 昌子 選

【平抜き】

コロナ禍よ介護面接消さないで
練習の成果で面接パスをする
面接へ真つ直ぐな背は崩さない
フィアンセの父の前では堅くなり
面接のイメトレ重ねリラックス
スポーツ店面接官も着るジャージ
裏の顔覗く面接官の視野
面接に臨むフンドシ締め直し
氷河期で面接の海に溺れます
【秀 逸】
面接も難なく親の七光り

斉藤 蛙井
佐藤まさあき
木村奈生美
高田 幸柳
高田 幸柳
瀧尻 善英
木村奈生美
高田 幸柳
斉藤 蛙井
瀧尻 善英

黙秘するチキンラーメン出来るまで
床下の壺の中味はパスワード
充分に眠る 充分撓るため
母としてのこむら返りが終わらない
時間ですただのおんなに戻ります

【五客】

嘘つばい月の右目を爆破せよ
十月の膝の裏から発破音
奥の間にコールマン髭尿取りパット
亡弟を送ったあとのレトルトカレー
非常口からは累々と孤独死
【人位】
わたくしの替え芯はもうありません
【地位】
お叱りは南蛮漬にして返す
【天位】
百均で売っちゃいけない今日の俺

尾崎良仁
須藤しのすけ
小沢 史
岩根彰子
斎藤泰子
奈良一艘
芝岡かんえもん
宮井いずみ

◆「百均」は、もちろん百円ショップのこと。ある百円ショップの会社は7万アイテムの商品を扱って、1日平均12億円を売り上げているそうだ。そんな店で通常売られている作者、というのも変だが、今日ばかりは売られないというはどうした訳だろう。いつもはどこにでも転がっているような自分だが、今日は打って変わって立派な人間なのだ、というところか◆

渾身のよそゆき顔で面接へ
【特 選】

高田 幸柳

大臣は面接せずのお気に入り

久保あざみ

■席題『面接』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

転職で逆の立場に立つ面接
氷河期で面接の海に溺れます
面接の合格旨い飯の幸
面接で溢れ出したか我が個性
練習の成果で面接パスをする
試験官初々しさに弱かった
面接に臨むフンドシ締め直し
面接も仕事も家でオンライン
フィアンセの父の前では堅くなり
【秀 逸】
裏の顔覗く面接官の視野
面接へ真つ直ぐな背は崩さない
【特 選】
面接のイメトレ重ねリラックス

福田 芳記
斉藤 蛙井
木村奈生美
斉藤 蛙井
佐藤まさあき
村上 昌子
高田 幸柳
村上 昌子
佐藤まさあき
木村奈生美
木村奈生美
木村奈生美
高田 幸柳

■宿題 『明 暗』

高田 幸柳 選

【平抜き】

明暗は人ごみ避けてまずマスク
つなみ禍に耐えて復活商店街
明暗を分けた一言ありがとう
明暗を分けた大臣待機組
見守りのブルーライトは明暗か
白虎隊あの日スマホがあったなら
明暗を分かつ前向き後ろ向き
介護食明暗分けるタイミング
極貧に闇から光見詰めてる
地球儀の裏面で飢餓の子が見てる
あざなえる縄の如しのわが人生
明暗を知って心の武器とする

久保あざみ
佐藤まさあき
城後 朱美
福田 芳記
磯島 雅男
久保あざみ
村上 昌子
磯島 雅男
齊藤 蛙井
瀧尻 善英
佐藤まさあき
木村奈生美

【秀 逸】

九回の裏で泣いたり笑ったり
吉か凶カンダタ腹の中に住む

瀧尻 善英
村上 昌子

【特 選】

トンネルを抜ければ射して来る希望

瀧尻 善英

■宿題 『メール』

木村奈生美 選

【平抜き】

メールにて日時確認助けられ
そんたくでメールの削除命じられ
呼び捨てでメールを交わす深い中
指と目は元氣ですかと聞くスマホ
投句して確認メール着く感謝
メル友はたくさんいるがまだ一人
オンライン振り回されるウソホント
Eメール飛んで小さくなる地球
娘のメール親指姫のように見え
返信が来ない待ってるのに来ない
メール打つ毎に賢い予測キー
偽りの警告メールまで軽い

漆館ミノリ
福田 芳記
齊藤 蛙井
村上 昌子
磯島 雅男
城後 朱美
村上 昌子
瀧尻 善英
佐藤まさあき
瀧尻 善英
磯島 雅男
磯島 雅男

【秀 逸】

吉報の一斉メール待機中
一行のメールで解けるわだかまり

高田 幸柳
瀧尻 善英

【特 選】

お休みのメールで今日を締めくくる

城後 朱美

■互 選 『名 産』

- ①その土地の名産に出会う道の駅
- ①名産品当たり外れは有りを知る
- ①名産を産地で味見おいしかった
- ①獄きみが好きで二山越えて行く
- ①名産へ大河の舞台待ちわびる
- ①バカ売れの産地直送届く旬
- ②名産は「こんなもんか」と舌にのせ
- ②名産を選ぶ序でに夢も買い
- ③旅先で鞆の隅の名産品
- ⑤名産品母の手紙も添えて着く

福田 芳記
久保あざみ
漆館ミノリ
久保あざみ
高田 幸柳
村上 昌子
齊藤 蛙井
木村奈生美
佐藤まさあき
瀧尻 善英

■十和田たてがみ川柳会12月句会案内

【時】12月19日(土) 午前10時から 【所】十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『やり遂げる』高田幸
柳選／『やるせない』木村奈生美選 【互選】(二句詠)『や
る気』当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】
一題(三句詠・共撰)／選者は、瀧尻善英ほか出席者
から一名 【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番
町2-21 十和田労働福祉会館 高田幸柳あて

「チャレンジ川柳！
むさし流！」のブ
ログはこちらから



川柳吟行会「ぽ」

10月句会

熊谷冬鼓

今回の課題は「魚」。16名48句からの選結果である。高得点の句は6名とか5名が選んでいるのでそれぞれの選評を読み比べるのも一考。

青森県の新型コロナ感染者数は少し落ち着いて来たようだが、首都圏等での数値をみると吟行句会はまた先延ばしになりそうである。

【10点】特×4・佳×2

せよつなら鱗一枚貼っておく

峯島妙

【美映】鱗とは涙の象徴なのかもしれないね。魚であった二人だったはずなのに、伴走したパートナーはもういない。【恵子】この「鱗一枚」は、私を忘れないようにという未練の鱗かも。ドラマがあります。【こあき】鱗一枚で誰からの別れか、どんな別れなのかわかるのですね。すごい。【しんのすけ】鱗一枚にメルヘンかサスペンスか迷ったが、ここは人魚姫の悲話に寄り添いたい。さよならは綺麗な方がよい。【啓子】さよならなんてそんなもの。って思いたい。【ふぶき】自分の身から剥がした鱗、それを別際に貼るのか、鱗に気持ちが見えた。

【5点】特×1・佳×3

ゆらゆらと魚影ばかりの夏だった

吉見恵子

【彰子】令和2年のこの間の夏を魚影ばかりの夏と客観視した所の川柳眼がとても良いと感じた。【こあき】今年は、本当に色彩のない影ばかりの夏でした。【冬鼓】コロナ禍で密になれない。そのもどかしさを中7が表現。【さち】ほんとにゆらゆらと夏が来て終わってしまいました。

【4点】特×2

夕焼けに映す秋刀魚の焼ける音

須藤しんのすけ

【妙】ストレートに秋が香ってくるスケールの大きな句です。我が家は今年の高い秋刀魚を何回焼けるかな？なんて考えてしまいます。【紫の園】夕焼けに染まって、秋刀魚が香ばしく焼けていく音がパチパチとする。色合いと音とを表現していて、その一齣の情景が目に見えそう。

【4点】特×1・佳×2

魚偏つけて鰯になっっている

渡邊こあき

【文音】数多い魚偏から作者は弱気になったのか。いや謙遜かな。人間同志では好き嫌いの多い鰯だが、作者は約しい自分を重ねた。【妙】鮮度命のイワシ。ありそうな発想ですが「なっっている」が面白い句。【恵子】魚偏つけて、やっとあなたが覚えてきました。世の荒波には大群の鰯はいい隠れ蓑。

【7点】特×2・佳×3

私の軟骨魚類である部分

小野五郎

【啓子】人間の本能を軟骨魚類と読んだ。人間の部分と魚の部分の（理性と本能）バランスをとりながら生きなくっちゃ。【冬鼓】作者の軟骨魚類な部分とは。サメやエイのような凶暴性か。あるいは進化を拒むこだわりか。軟骨魚類の見つけが想像を膨らませる。【妙】軟骨を見つけたことが新鮮で面白いです。鳥類からも進化ですかね？【美映】それが身にまとうアンモニアなのか、肝油かで解釈は変わりそうですね。【恵子】魚類の軟骨は海から出た人類の名残。その軟骨に支配されている何かを感じるのでしょうか。

【6点】特×1・佳×4

するめって幸せの時やわらかい

峯島妙

【さち】そうかも知れない。確かに柔らかくて幸せなときがあったとホロツとしました。あのころの弾力がなつかしい。【彰子】感情に支配される味覚の発見。【啓子】かたいするめばかりに遭遇してきたような気がします。【いずみ】するめの堅さは幸せ度によって違う。初めて知りました。【五郎】納得。ユーモアもある。

ページから抜け出た魚を探している

滋野さち

【隆志】ドラマ性がありますし、ストーリーが眼に浮かびます。【紫の園】ファンタスティックで、引き込まれてしまいそうでも探したくなる句。【しんのすけ】ページは常識、魚は自由。さあ、捕まえろ！

【3点】特×1・佳×1

そもそもさあなんて言い出す深海魚

熊谷冬鼓

【いずみ】ネクラで理屈っぽいのが深海魚だ、きつと。誘っても水を差すようなことを言っ。句の仕立てが絶妙。【美映】ちよつとそのへんの事情をシーラカンスさんに話を伺ってみました。

海だつて魚の涙でイッパイさ

滋野さち

【旅男】海水は涙でしょっぱいのか。言い切りがいいですね。私の海もしょっぱいです。【隆志】海と魚の関係をうまく表現してる。

くるぶしの貧しさに似る棒だらよ

福田文音

【五郎】現実を逆照射して見せる表現にひかれた。【さち】末尾の「よ」が気になったが、発想が面白い。似ると言わず断言して欲しかった。

□ 2020.12.28 ✕ 第19回青森県近代文学館川柳大会

【参加料】無料【賞】各特選受賞者に記念品進呈【宿題と選者】(各題1句詠)『コロナ』夏草ふぶき・長利冬道・山本弘志(共選)『未来』田中薫・綿谷夕雨子・高森一吞(共選)『揺れる』潤子・成田我楽・野沢省悟(共選)【投句方法】・郵送または近代文学館カウンターでの受付となります。・官製ハガキかハガキ大以上の大きさの紙に題を明記し、各題につき一句を必ず楷書でお書きください(それぞれの句がどの題の句であるかわかるようにお書きください)。・住所、氏名(筆名の場合本名も)、連絡先電話番号を明記してください。【投句締切】令和2年12月28日(月)・郵送は当日消印有効、近代文学館カウンターでの受付は同日の十七時までとなります。【投句先/お問い合わせ先】〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7 青森県近代文学館川柳大会係 電話 017(739)2575【主催】青森県近代文学館

□ 2021.01.15 ✕ 第9回卑弥呼の里誌上川柳大会

【締切】令和3年1月15日(金)消印有効【投句料】1,000円(切手不可)発表誌呈(4月初旬発送予定)【課題】(各2句)「自由吟」古谷龍太郎・森中恵美子共選/「永遠」むさし・大西泰世共選/「苦手」石橋芳山・樋口由紀子共選/「葉」井上一筒・赤松ますみ共選/「瓶」板垣孝志・木本朱夏共選【投句用紙】投句用紙あり(コピー可)【投句先】〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲2426-2 卑弥呼の里川柳会 真島久美子宛 Tel/Fax 0952-52-1061【賞】各題特選1句・有田焼1万5千円相当/各題佳作5句・図書券/その他サプライズ賞あり【主催】卑弥呼の里川柳会【協力】毎週Web句会

□ 2021.01.31 ✕ 2021年青森県川柳年鑑「ねぶた」作品募集

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【応募料】3,000円(切手不可)【対象作品】残しておきたい自選10句/作品にタイトル(タイトル無しも可)【応募用紙】所定用紙(コピー可)またはA4用紙に楷書で。住所、氏名(姓と柳号・本名)、電話番号、年齢、性別、柳歴、所属結社(2社まで)【掲載内容】A5版の冊子に作品、姓と柳号、住所、電話番号、所属結社(住所と電話の掲載は任意、その他はデータ資料として活用)その他不浪人賞、年度賞、蝶五郎賞、文芸コンクール、新聞の柳壇、東奥少年少女文芸大会、各大会の記録、各結社の呈賞、柳壇トピックなど【募集期間】2020年10月~2021年1月末日【発表】2021年4~5月予定【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森川柳連盟 年鑑係【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也(電話)080-5574-9297

【2点】特×1

妥協点なんかなかった金魚鉢

守田啓子

【ふぶき】ガラスの金魚鉢に緊張感を感じ、妥協したら割れそうだったもの妥協しないでいいんだと思った。

【2点】佳×2

マンボウを涙の餌で釣り上げた

旅男

【隆志】涙はマンボウかそれとも作者か【文音】マンボウは凶体は大きいが優しくそう。彼女は涙目で結婚してと誘ったらしい。今来た。今の夫です。

官邸の外は鯛にされている

宮井いずみ

【彰子】官邸の外の鯛が現状を言い得て妙。【こあき】鯛も大群になると、ばかにできません。

疑似餌だと知っていながら釣られてる

渡邊こあき

【旅男】エサは何でも良かった、アクションを待っていた。【文音】怪しいと知っていたのに釣られて今のボク。物語がでる。【こあき】

【1点】佳×1

尾ひれブルっ 新月それはロジハラで

守田啓子

【いずみ】新月がなぜ正論を振りかざすことになるのかわからな。でも面白い。

飛魚の残り時間を見下ろして 吉見恵子

【旅男】見下ろすほど高く飛びたい鯛です。

死ぬときは目を閉じなさい魚たち 滋野さち

【ふぶき】死ぬときぐらいいい心身ともに緩めてほしいよね。

遡上する時を逃して迷い川 渡邊こあき

【紫の園】目的を目指して泳いできたが、「時を逃がして」しまい、迷い違った川に入り込んでしまった鮭。自分の人生に重ね合わせているかのようでもある。

筆談の客と鮫鱈鍋にする 笹田隆志

【しんのすけ】繊細さとドッシリ感の対比が気持ちいい。

浜風にひらひら烏賊も私も 峯島妙

【五郎】軽みの中に悲哀を感じさせる。

秋刀魚焼くちよつと燻ってお祭りマンボ 岩根彰子

【冬鼓】七輪で焼かれた秋刀魚だね。句だけで歌いたくなく。お祭りマンボが愉快。

■会費拝受【10月受付分】

辻井洋子（青森市）/ 瀧村小奈生（愛知県）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆いつも、12月号には、あつという間だったという感想を書くのだが、なんとなく今年是一年が長かったような気さえする。非常事態宣言時のことなんて、もうまるで3年位前のような感じもある◆NHKのテレビ番組「チコちゃんに叱られる！」で放送された「大人になるとあつという間に1年が過ぎるのはなぜ？」の回。その理由は「人生にトキメキがなくなったから」だった。子供は日常に初めて見るものや初めての体験が溢れていて、その日々のトキメキが多いほど、時間の経過が遅く感じるそうだ。そして、19歳くらいからだんだん1年が短くなっていくのだそうだ。そういう意味では新型コロナウイルスという未知のもの出現で、ま、ある意味、トキメいて、毎日毎日、そのウイルスの新しい情報が報道されることにトキメいて、毎日の感染者数をチェックして、へーとかほーと

か言いながらトキメいていた1年だったから、今年はなんとなく遅く感じたのだろう◆さて、今年も流行語大賞が発表され、「3密」が大賞に選ばれた。「3密」という言葉が流行しない社会であるべきなのに、流行語大賞に選ばれるという、なんとも言い難い大賞だったが、そのトップ10に入った「鬼滅の刃」である。私はどちらかという原作者の漫画ではなく、去年の4月から放送されたアニメを観ていた。その第1部が9月に終了してから、なかなか続きが始まらないかと思ったら、映画だったのね、ということで映画も楽しみにして観にいった。もう、ぐちょぐちょに泣いてしまったのだが、コロナという鬼とそれを退治する人間の戦いのようで、死ぬからこそすべてのものが尊いということを再認識させられた◆来年もみなさんが元気で過ごせることを祈っています。良いお年を◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2020.12.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（2月号分）

【締切】12月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）、柳号、住地【掲載】2/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>

□ 2021.01.08 おかげょうき川柳社本社1月句会

【投句締切】1月8日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『手』尾崎良仁（千葉県）選/『低い』齊尾くにく（鳥取県）選/『自由詠』奈良一艘（青森県）選【投句先】moriko@okajoki.com（守田啓子）【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/> 郵便・FAXでの投句不可 ■会員以外の方も参加可、掲載号呈、住所・方書き明記（住所記載がない場合は掲載号の発送できません）/投句フォーム利用時は席題欄に住所・方書き明記

□ 2021.01.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（3月号分）

【締切】1月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）、柳号、住地【掲載】3/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>

□ 2021.02.05 おかげょうき川柳社本社2月句会

【投句締切】2月5日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『戸』西沢葉火（長野県）選/『尖る』菊池京（青森県）選/『自由詠』Sin（青森県）選【投句先】moriko@okajoki.com（守田啓子）【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/> 郵便・FAXでの投句不可 ■会員以外の方も参加可、掲載号呈、住所・方書き明記（住所記載がない場合は掲載号の発送できません）/投句フォーム利用時は席題欄に住所・方書き明記



2020年12月10日発行(年12回発行) 第24巻第11号通巻321号
 ●発行人／むさし●編集／Sin●発行／おかじょうき川柳社●表紙題字／金子榮風
 青森県東津軽郡外ヶ浜町宇蟹田中師宮本2の3 ●TEL&FAX:0174-22-2119 ●E-Mail:info@okajoki.com

おかじょうき川柳社：誌上句会

0 番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者 (2句詠・共選)

題：『舟』

2/28 〆切

選者

藤田めぐみ (東京都)

奈良一艘 (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、今回より郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<http://okajoki.com/toku/0line.html> へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、下記送信先までメール送信してください。<送信先アドレス：moriko@okajoki.com>

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円 (発表誌呈) *発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。